

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2(2)	気軽に立ち寄ってもらえる工夫や日常的な交流の中で、ホームの専門性も理解してもらえるよう取り組んでみてはどうか。	10時のお茶、15時のおやつに近隣の方に来ていただく	ポスターを作成してポスティング回覧板にものせていただく。 地域のイベントに参加させてもらう。	12ヶ月
2	6(5)	施錠も身体拘束に含まれることを再確認し、情報を共有しながら、支援方法について今後も検討を重ねていただきたい。	南側のみ開錠を行う。	時間を決めて開錠する(10~16時)あるいは曜日を定める。 玄関は開けておくが裏戸も時々開ける、洗濯物を干しに行く時一緒に行く(職員対応のみ)	1ヶ月
3	23(9)	集団生活であっても「人と同じような個人として楽しみのある生活」とはどのような生活なのか、具体的な実践を重ねていただきたい。	利用者様の意見を聞き、個別行動が行えるようにする。	3人態勢のときの外出や買い物に行く あみものや絵、短歌が好きな方がいるので1日の内に少しでも一緒に行っていける様心がける。	12ヶ月
4	40(15)	午前にはコーヒー、午後は緑茶が提供されているが、おやつ時間も選択場面の一つと捉え、メニューを作り選んでもらってはどうか。	メニューから選んでもらう リクエストをあげてもらおう	月・金買い物のために事前に好きなものを選んでいただく(日、木に選択していただく) 時間の目安として15時ではなくとも時間が少しずれても良いのではないかな。	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。